

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	ガンスリンガー	Lv.1:	セージ	性別	女
称号クラス				年齢	17
種族	ネヴァーフ			境遇	略奪
出自 (効果)	商人			目標	復讐

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	14	19	7	12	7	9	3
ボーナス	4	6	2	4	2	3	1
クラス修正	0	2	0	1	1	2	0
他修正							
能力値	4	8	2	5	3	5	1

HP	49
MP	53
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	キャリバー	10m	0	7	0	0	0	0	0
左手	カイトシールド		0	0	0	4	0	-1	0
頭部									
胴部	ライトスーツアーマー					8			-3
補助	ポイントアーマー				-1	3			
装身具	聖印								
能力値			8	0	2	0	5	5	9
スキル									
その他									
総計(右)			8	7					
総計(左)			8	0	1	15	5	4	6
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	5			5	+ 2 d
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d
魔術判定	5			5	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
ベルトポーチ	戦利品枠
小道具入れ	
冒険者セット	
くさび*5	
小型ハンマー	
HPポーション	
MPポーション*2	
MPポーション*7	

現在重量:	17	所持金:	22	預金・借金:	
最大重量:	21				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
テクニクマスター	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 器用基本値+3								
プロテクション	4	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: HPを[3D+CL×3]点回復。								
エンサイクロペディア	1	-	セットアップ	-	自身	自動成功		
効果: エネミー識別を行う。								
コンコードダンス	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: エネミー識別を対象: 場面 (選択)、射程: 視界とする。								
キャリバー	1	-	アイテム	-	自身	-		
効果: キャリバーを取得。								
ラーニング	1	-	効果参照	-	自身	-		
効果: メイキングでない種族スキルを1つ取得。幸運基本値-3								
ナチュラルヒストリー	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: エネミー識別判定+2D								
アームズマスタリー: 魔導銃	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 指定武器使用時命中判定+1D								
ホーリーウェポン	2	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 対象が行う武器攻撃のダメージ+[SL×3]。シーン中持続								
ファニング	1	5	メジャー	武器	[SL+1]体	命中	魔導銃使用	
効果: 射撃攻撃を行う。								
ファーストエイド	1	-	メジャー	至近	単体	器用10		
効果: 戦闘不能をHP1で回復。行動済みに。								
ブラフ	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 嘘やはったりで相手を欺く【精神】判定+1D								
モンスターロア	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 【エネミー識別】判定+1D								
ホーリーオーダー I	1	-	効果参照	-	自身	自動成功	アコライト	
効果: 《ホーリーウェポン》等と同時に使用。フェイトを1点使用し、対象: 範囲 (選択) に								

"海上の街"アルフィオレを中心に事業を広げている総合商社ベルンスター商会の娘。

シトローンは、幼いときに神殿に預けられ、父の希望により"神々の王"アーケンラヴと"予言の女神"ブリガンティアの名のもとに洗礼を受けた。洗礼を受けた神官はその時に、予言の声を聞いたのだという。

「よいですか。この娘は、災いに見舞われやすい天運を持っているそうです。しかし、神々はそれを憐れんでくださり、その名を標として困難に打ち勝つ力を与えてくださいます。決して名を偽ってはいけません。神々がこの娘を見失えば、必ず良くないことが起こるでしょう」シトローン之父はこのことを聞き、益々の愛情と共に、修道士として神の教えを学ばせることを決めた。

そうして彼女は成長し、ある日のことである。父ヴァレンタイン・ベルンスターは、商会の長として近海を荒らしまわる海賊の被害に頭を悩ませるも、和解の路線を模索しようとしていた。しかしある日、彼とシトローンが共に乗り込んだ商船が組織的な海賊の襲撃に遭ってしまう。

「いいかシトローン、私は彼らと交渉してくる。なに、海賊として人間だよ、やりすぎでは利にならんことも知っている連中だ。しかし、お前はここにいなさい。一般乗員に紛れているんだ。決して身元を明かしてはいけぬよ」

「うん」

乗組員を守ろうと訴え出た父だったが、海賊たちは彼が商会の有力者だと知ると、脅迫のために乗組員から身内の者を探し始めた。

「おい小娘、お前、名前は？」

「え、わたしは……」

とっさに偽名を名乗り、その場を乗り切ったシトローン。そしてしばらくすると。

